

報道関係者 各位

2024年11月26日  
一般社団法人 日本BPO協会  
専務理事 田畑 一雄  
電話：03-6721-5361  
URL：<https://www.bpo.or.jp>

## 2024年10月度 製造請負・派遣事業動向調査結果

一般社団法人 日本BPO協会は、製造請負・派遣業の事業主団体として、会員企業を対象に製造請負・派遣業に関する業況判断等について四半期ごとに定期調査を実施しております。

2011年4月に第1回を実施し、今回で55回目となります。

2024年10月度の調査結果を下記のとおり取りまとめました。

**業況判断D Iはプラス14と前期比6ポイント上昇**  
～業況判断D Iは2期連続でプラス。業況は緩やかな回復基調。～

### 【調査結果のポイント】

#### 1. 業況判断等

(1) 2024年10月度調査の業況判断D I（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス14で、2024年7月度調査（プラス8）を6ポイント上回っている。

先行き（3か月後）の業況判断D Iはプラス18となっている。

(2) 取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス28で、2024年7月度調査（プラス23）を5ポイント上回っている。

先行き（3か月後）の取引先数判断D Iはプラス34となっている。

(3) 雇用人員判断について、スタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス91で、2024年7月度調査（プラス87）を4ポイント上回っている。

また、プロパ社員判断D Iはプラス41で、2024年7月度調査（プラス33）を8ポイント上回っている。

先行き（3か月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス90となっている。

#### ※用語の説明

【スタッフ社員】：製造業務等に直接従事する労働者

【プロパ社員】：製造業務等には直接従事しないで、営業部門や管理部門等、間接業務に従事する労働者

#### ※D I値について

本調査におけるD Iとは、各調査項目についての判断の状況を示す。例えば、業況判断D Iは、ゼロを基準として、プラスの値は業況の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値は業況の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

#### 2. 売上額・雇用人員

(1) 回答企業の2024年7～9月期売上額の対前年同期比増減率は3.1%増であった。

(2) 回答企業の2024年9月末現在の雇用人員数は163,824人であった。

## 【調査の概要】

### 1. 調査の目的

四半期ごとに、会員企業の製造請負・派遣業に関する業況判断、売上げ動向、雇用人員等の事項について調査することにより、製造請負・派遣業の現状を明らかにし、事業運営に役立てるとともに、取引先はじめ関係の皆さまに業界の実情をご理解いただくことを目的とする（2011年4月から調査開始）。

### 2. 調査時期

この調査は、2024年9月30日現在の状況について、2024年10月8日から10月22日に実施した。

### 3. 調査の対象

当協会の正会員（91社）を対象とした。回答企業数68社、回答率74.7%。

### 4. 結果表 別紙

## 【結果の概要】

### 1. 業況判断等

#### (1) 業況判断

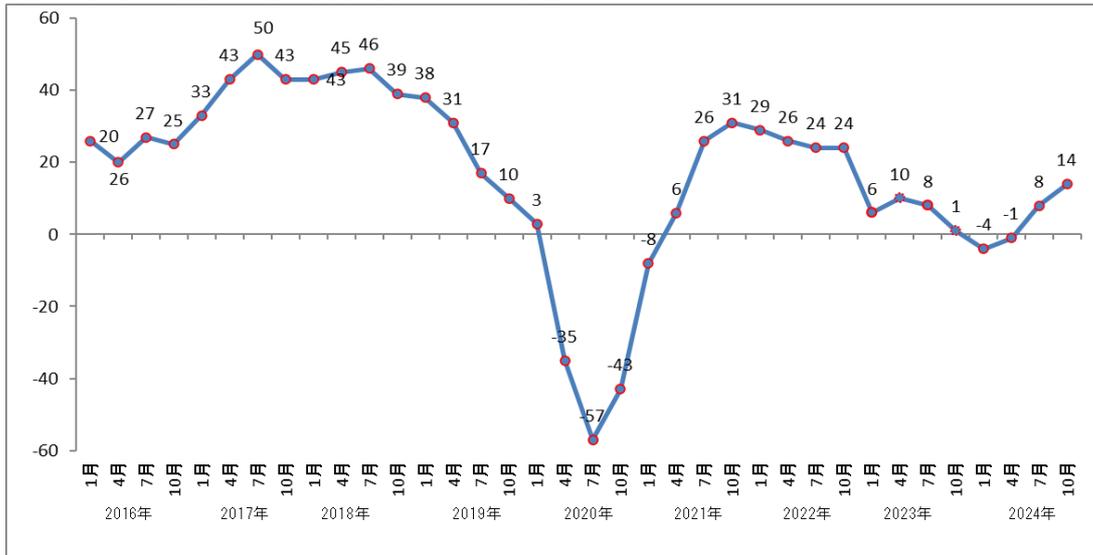
2024年9月の業況判断DI（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス14で、2024年7月度調査（プラス8）を6ポイント上回った（図1）。業況判断DIは、2四半期連続でプラスとなった。

判断材料として、生産状況の回復により堅調な業況の業種、好調な業況であるとの見方がある一方で、凸凹がある状態が継続している、横ばいで大きな変動が見込まれないとの見方もある。人材確保は依然として困難な状況が続いている。

#### 【最近の業況】の判断例（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・自動車業界は、6月頃に発生した認証不正問題に伴う生産停止がおおむね収束し、生産は正常化に向かっている。電子デバイス業界は、全体的に生成AI関連の需要が好調。半導体関連は製造装置を中心に回復傾向が続き、電子機器関連も自動車・AIを中心に堅調な生産状況。人材需要も継続的に発生している。
- ・製造派遣（自動車業界）が順調に稼働し始めたことで、人材需要が増加してきた。
- ・自動車関連企業からのオーダーが増加してきており、生産数自体が増加傾向にあると思われる。ただし、相変わらず人材確保には苦慮している状況である。
- ・全体としてはやや上向き基調となった。自動車輸送関連は、台風や地震情報が下押し要因となった。電機半導体関連は前回調査時よりは上昇したものの、横ばい傾向が続く。
- ・自動車製造、電子機器製造関係の取引先について、生産状況に大きな変動はなく、比較的落ち着いた状態にある。大雨・台風の影響により、稼働停止となる取引先が多数あり、業績に大きな影響があった。
- ・製品・業界別に凸凹がある状態が継続している。

(図1) 製造請負・派遣業況判断D I の推移



先行き（3ヵ月後）の業況判断D Iはプラス18であり、最近の業況判断（プラス14）を4ポイント上回っている。

判断材料として、生産回復が見込まれる業種を中心に好調との予想がある一方で、先行きの不透明感が強く、生産が横ばいまたは減産と予測される業種もある。採用難も継続する見込み。

**【先行きの業況】の判断例**（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・自動車業界では、生産状況がおおむね堅調に推移し、人材需要も継続的に発生すると予想する。電子デバイス業界でも、市況の回復に合わせて人材需要が継続的に発生する見込み。一方、人手不足の影響で必要な人数を採用するのに苦労する可能性がある。
- ・自動車関連企業からの増員オーダーはしばらく継続すると思われるが、人材確保がいきなり好転する要素は少なく、苦戦が続くと思われる。
- ・3ヵ月後の業況はやや上向きか横ばいとなる見通し。自動車輸送関連はメーカーによる傾向が異なるものの、全体としては横ばいの見込み。半導体関連は国内向け、海外向けを問わず一部の企業で減産や生産調整を行っている状況。
- ・取引先から来年度以降の増産計画を伺うことはあるが、今年度内の大規模な増産計画は出てこない。一方、年内で減産、減員を予定しているとの話が出ている。
- ・製造派遣（自動車業界）での稼働停止が頻発してきたことにより、今後の見通しが明確ではない。

**(2) 取引先数判断**

2024年10月の取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス28で、2024年7月度調査（プラス23）を5ポイント上回った。

先行き（3ヵ月後）の取引先数判断D Iは、プラス34となっている。

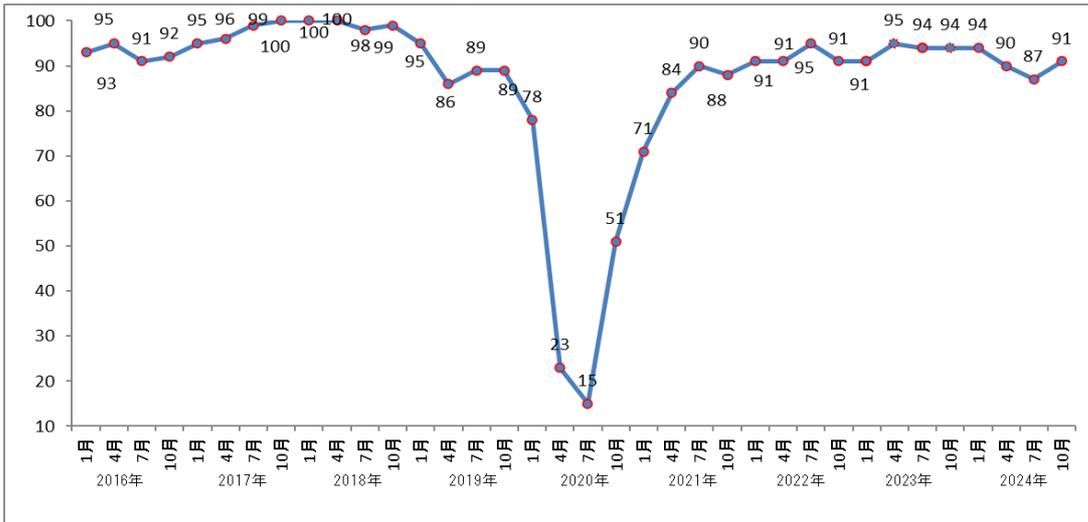
**(3) 雇用人員判断**

**① スタッフ社員**

2024年10月のスタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス91で、2024年7月度調査（プラス87）を4ポイント上回った（図2）。

先行き（3ヵ月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス90となっている。

(図2) スタッフ社員判断D Iの推移



## ② プロパ社員

2024年10月のプロパ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス41で、2024年7月度調査（プラス33）を8ポイント上回った。

先行き（3か月後）のプロパ社員判断D Iはプラス40となっている。

## 2. 売上額・雇用人員

### (1) 売上額

回答企業68社の2024年7～9月期売上額の対前年同期比増減率は3.1%増であった。

回答企業の規模別で見ると、A群（売上高10億円以上）が3.4%増、B群（売上高10億円未満）が1.5%減となっている。

会員企業の売上額の対前年同期比増減率の分布をみると、0～9%増が48.5%で最多となっており、次いで、0～9%減が25.0%、20%～増が8.8%となっている。増減率がプラスとなった企業割合は、64.7%であった。

### (2) 雇用人員

回答企業68社の2024年9月末現在の雇用人員数は163,824人であった。

内訳を見ると、スタッフ社員が152,973人で、雇用人員全体の93.4%を占めている。スタッフ社員の内訳は、労働者派遣により就業する社員が124,819人（スタッフ社員全体の81.6%）、請負等の現場に就業する社員が28,154人（同18.4%）となっている。

プロパ社員は10,851人、全雇用者のうち外国人労働者は23,303人となっている。

以上

(別紙)

製造請負・派遣事業動向調査 結果表－2024年10月度調査

一般社団法人日本BPO協会

1. 判断項目

(1) 業況判断

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年7月調査		2024年10月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 31 (29)	良い	14	17	16	2	16	0
	さほど良くない	79	79	81	2	81	0
	悪い	7	3	3	-4	3	0
	業況判断DI	7	14	13	6	13	0
B群 37 (37)	良い	19	27	19	0	30	11
	さほど良くない	70	65	76	6	62	-14
	悪い	11	8	5	-6	8	3
	業況判断DI	8	19	14	6	22	8
合計 68 (66)	良い	17	23	18	1	24	6
	さほど良くない	74	71	78	4	71	-7
	悪い	9	6	4	-5	6	2
	業況判断DI	8	17	14	6	18	4

- (注) 1. 「良い」、「さほど良くない」及び「悪い」の各数値は、回答社数に占めるそれぞれの回答割合(%)を示す。  
 2. 「業況判断DI」は、「良い」(回答社数構成比)－「悪い」(回答社数構成比)。  
 (以下、取引先数判断及び雇用人員判断についても同様。)  
 3. 「最近」は回答時点を、「先行き」は3ヵ月後を示す。  
 4. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。  
 5. 規模区分は2024年1～3月期の売上げ額が10億円以上の企業をA群、10億円未満の企業をB群とした。  
 6. 社数欄は2024年10月調査の回答企業数、カッコ内の数値は2024年7月調査の回答企業数を表す。  
 7. 全ての回答割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100%にならない。

(2) 取引先数判断

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年7月調査		2024年10月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 31 (29)	増加	28	41	32	4	32	0
	ほぼ同じ	69	52	68	-1	68	0
	減少	3	7	0	-3	0	0
	取引先数判断DI	25	34	32	7	32	0
B群 37 (37)	増加	30	38	30	0	38	8
	ほぼ同じ	62	57	65	3	59	-6
	減少	8	5	5	-3	3	-2
	取引先数判断DI	22	33	25	3	35	10
合計 68 (66)	増加	29	39	31	2	35	4
	ほぼ同じ	65	55	66	1	63	-3
	減少	6	6	3	-3	1	-2
	取引先数判断DI	23	33	28	5	34	6

(3) 雇用人員判断

1) スタッフ社員

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年7月調査		2024年10月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 31 (29)	不足	90	90	94	4	94	0
	適正	7	10	6	-1	6	0
	過剰	3	0	0	-3	0	0
	スタッフ社員判断DI	87	90	94	7	94	0
B群 37 (37)	不足	89	92	89	0	89	0
	適正	11	8	11	0	8	-3
	過剰	0	0	0	0	3	3
	スタッフ社員判断DI	89	92	89	0	86	-3
合計 68 (66)	不足	89	91	91	2	91	0
	適正	9	9	9	0	7	-2
	過剰	2	0	0	-2	1	1
	スタッフ社員判断DI	87	91	91	4	90	-1

## 2)プロパ社員

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2024年7月調査		2024年10月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 31 (29)	不足	55	59	68	13	65	-3
	適正	41	38	29	-12	32	3
	過剰	3	3	3	0	3	0
	プロパ社員判断DI	52	56	65	13	62	-3
B群 37 (37)	不足	30	32	30	0	30	0
	適正	59	62	62	3	62	0
	過剰	11	5	8	-3	8	0
	プロパ社員判断DI	19	27	22	3	22	0
合計 68 (66)	不足	41	44	47	6	46	-1
	適正	52	52	47	-5	49	2
	過剰	8	5	6	-2	6	0
	プロパ社員判断DI	33	39	41	8	40	-1

## 2. 四半期項目

## (1)2024年7~9月期の売上額に関する対前年同期比増減率

規模区分		A群	B群	合計
企業数		31	37	68
対前年同期比増減率		3.4%	-1.5%	3.1%
（増 減 成 率 比 分 ） 布	20%~	3.2%	13.5%	8.8%
	10%~19%	6.5%	8.1%	7.4%
	0%~9%	54.8%	43.2%	48.5%
	▲0%~▲9%	35.5%	16.2%	25.0%
	▲10%~▲19%	0.0%	8.1%	4.4%
	▲20%~	0.0%	10.8%	5.9%

## (2)雇用人員

2024年9月30日現在

労働者の属性	A群		B群		合計	
	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)
スタッフ社員数	141,621	93.5% (100%)	11,352	91.8% (100%)	152,973	93.4% (100%)
労働者派遣により 就業する社員数	115,465	76.2% (81.5%)	9,354	75.6% (82.4%)	124,819	76.2% (81.6%)
請負等の現場に 就業する社員数	26,156	17.3% (18.5%)	1,998	16.2% (17.6%)	28,154	17.2% (18.4%)
プロパ社員数	9,832	6.5%	1,019	8.2%	10,851	6.6%
総労働者数	151,453	100.0%	12,371	100.0%	163,824	100.0%
うち、外国人労働者数	20,212	13.3%	3,091	25.0%	23,303	14.2%

(注) 構成比のうち( )内は、スタッフ社員数に占める労働者派遣により就業する社員数及び請負等の現場に就業する社員数の割合を表す。

以上